



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年7月29日

上場会社名 株式会社杉村倉庫 上場取引所 東
 コード番号 9307 URL <http://www.sugimura-wh.co.jp/>
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 福西 康人
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 小松 圭作 (TEL) 06-6571-1221
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	2,578	5.4	231	△23.7	241	△20.6	160	△20.2
2022年3月期第1四半期	2,445	△0.9	302	13.4	304	12.6	201	△9.7

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 179百万円(△19.1%) 2022年3月期第1四半期 221百万円(△8.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	9.83	9.83
2022年3月期第1四半期	12.34	12.32

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	21,779	14,617	67.1
2022年3月期	21,907	14,542	66.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 14,615百万円 2022年3月期 14,539百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	3.00	—	4.50	7.50
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	3.00	—	4.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,230	5.6	470	△12.7	470	△10.1	310	△9.4	18.97
通期	10,660	4.6	1,000	△14.9	970	△15.1	650	△18.8	39.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	16,408,110株	2022年3月期	16,408,110株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	115,075株	2022年3月期	70,075株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	16,317,661株	2022年3月期1Q	16,301,582株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大による行動制限が緩和されたことにより、小売や外食などの個人消費が持ち直しの動きを見せましたが、ウクライナ情勢や各国金融政策などを起因とした物価上昇や部材不足の問題が顕在化しました。

倉庫物流業界におきましても、国内消費の回復により入在庫高と保管残高に回復の兆しは見られるものの、燃料費の高騰や新たな変異株の拡大の懸念などにより、先行きが不透明な状況となっております。

このような情勢のもと、当社グループは業務のより一層の効率化を行い高品質の物流サービスを提供して、顧客満足度を向上させることを目指してまいりました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの営業収益は25億7千8百万円となり、前年同四半期に比べ1億3千3百万円(5.4%)の増収となりました。営業原価は、修繕費が増加したことなどにより20億6千8百万円となり、前年同四半期に比べ1億5千5百万円(8.1%)増加しました。また、販売費及び一般管理費は、前期に稼働を開始した基幹システムの償却費が増加したことなどにより2億7千8百万円となり、前年同四半期に比べ4千9百万円(21.9%)増加しました。これらにより、営業利益は2億3千1百万円となり、前年同四半期に比べ7千1百万円(23.7%)の減益となり、経常利益は2億4千1百万円となり前年同四半期に比べ6千2百万円(20.6%)の減益となりました。その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億6千万円となり、前年同四半期に比べ4千万円(20.2%)の減益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(物流事業)

倉庫業務は、前期1月に新規営業所(江東営業所)が開設されたことなどにより、保管料や荷役荷捌料の収入が増加しました。運送業務は前年同四半期は低調だった配送の取扱が回復を見せました。この結果、外部顧客に対する営業収益は21億5千5百万円となり、前年同四半期に比べ1億3千6百万円(6.8%)の増収となりましたが、営業原価で修繕費が増加し、販売費及び一般管理費で基幹システムの償却費が増加したことなどにより、セグメント利益は1億6百万円となり、前年同四半期に比べ3千7百万円(25.8%)の減益となりました。

(不動産事業)

既存物件で新規顧客への賃貸が開始されましたが、駐車場賃貸で大口契約の解約が発生したことなどにより、外部顧客に対する営業収益は3億2千3百万円となり、前年同四半期に比べ2百万円(0.8%)の減収となりました。また、基幹システムの償却費が増加したことなどにより、セグメント利益は2億2千3百万円となり、前年同四半期に比べ2千2百万円(9.2%)の減益となりました。

(その他の事業)

ゴルフ練習場は猛暑の影響などにより利用球数が減少し、営業収益が7千3百万円となり減収となりました。売電事業は日照量の増加により発電量が増加したため、営業収益が2千4百万円となり増収となりました。

以上により、その他の事業の営業収益は9千9百万円となり、前年同四半期に比べ若干(0.6%)の減収となりました。セグメント利益は4千6百万円となり、前年同四半期に比べ若干(0.7%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は217億7千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億2千8百万円減少しました。これは、流動資産において受取手形及び売掛金が減少し、固定資産において建物及び構築物の減価償却が進んだことなどによります。負債合計は71億6千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億3百万円減少しました。これは、流動負債において支払手形及び買掛金や賞与引当金が減少し、固定負債において長期借入金が増加したことなどによります。純資産合計は146億1千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ7千5百万円増加しました。これは、株主資本の利益剰余金が増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想は新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢の影響が通期にわたり継続するとの仮定のもと、本日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える可能性のある要因を織り込んで作成しております。現在のところ概ね期初予想に沿って推移しており、2022年4月28日に公表した連結業績予想を据え置いております。今後何らかの変更がある場合には速やかに開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,908,958	3,078,423
受取手形及び売掛金	1,175,869	974,117
リース投資資産(純額)	2,740,275	2,716,765
その他	145,662	234,073
貸倒引当金	△4,483	△4,081
流動資産合計	6,966,282	6,999,298
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,514,808	7,394,866
機械装置及び運搬具(純額)	380,640	371,564
工具、器具及び備品(純額)	139,510	131,320
土地	4,557,435	4,557,435
リース資産(純額)	25,303	23,686
有形固定資産合計	12,617,699	12,478,874
無形固定資産		
借地権	295,290	295,290
その他	787,289	744,490
無形固定資産合計	1,082,579	1,039,780
投資その他の資産		
投資有価証券	730,312	755,078
繰延税金資産	150,646	132,797
その他	381,377	395,065
貸倒引当金	△21,387	△21,387
投資その他の資産合計	1,240,949	1,261,555
固定資産合計	14,941,229	14,780,210
資産合計	21,907,511	21,779,508

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	362,669	281,194
1年内返済予定の長期借入金	760,488	721,963
未払金	60,135	147,422
リース債務	7,199	7,091
未払法人税等	63,739	10,036
未払消費税等	114,911	134,281
賞与引当金	184,701	93,631
未払費用	265,259	302,702
その他	154,671	202,183
流動負債合計	1,973,774	1,900,506
固定負債		
長期借入金	4,172,417	4,060,210
長期預り金	141,540	141,540
リース債務	20,690	18,917
繰延税金負債	41,760	87,358
役員退職慰労引当金	205,394	164,080
退職給付に係る負債	770,067	753,146
資産除去債務	35,940	36,055
その他	3,870	—
固定負債合計	5,391,680	5,261,309
負債合計	7,365,455	7,161,815
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,628,409	2,628,409
資本剰余金	2,423,470	2,423,470
利益剰余金	9,323,992	9,410,941
自己株式	△36,255	△66,223
株主資本合計	14,339,616	14,396,598
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	238,187	254,883
退職給付に係る調整累計額	△38,054	△36,094
その他の包括利益累計額合計	200,132	218,788
新株予約権	2,307	2,307
純資産合計	14,542,056	14,617,693
負債純資産合計	21,907,511	21,779,508

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
営業収益	2,445,439	2,578,595
営業原価	1,913,948	2,068,948
営業総利益	531,490	509,646
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	124,135	135,119
その他	104,413	143,389
販売費及び一般管理費合計	228,548	278,509
営業利益	302,942	231,136
営業外収益		
受取配当金	17,481	21,431
社宅使用料	7,289	7,382
その他	5,637	5,473
営業外収益合計	30,408	34,287
営業外費用		
支払利息	17,696	14,006
支払手数料	6,067	6,000
その他	5,190	3,639
営業外費用合計	28,953	23,645
経常利益	304,397	241,778
特別損失		
投資有価証券売却損	2,171	—
特別損失合計	2,171	—
税金等調整前四半期純利益	302,225	241,778
法人税、住民税及び事業税	54,949	25,848
法人税等調整額	46,194	55,459
法人税等合計	101,143	81,307
四半期純利益	201,082	160,470
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	201,082	160,470

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
四半期純利益	201,082	160,470
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,179	16,695
退職給付に係る調整額	2,260	1,959
その他の包括利益合計	20,440	18,655
四半期包括利益	221,522	179,126
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	221,522	179,126
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物流事業	不動産事業	その他の 事業	計		
営業収益						
顧客との契約から生じる収益	2,019,246	—	99,605	2,118,852	—	2,118,852
その他の収益(注)3	—	326,587	—	326,587	—	326,587
外部顧客に対する営業収益	2,019,246	326,587	99,605	2,445,439	—	2,445,439
セグメント間の内部営業収益又は振替高	6,570	37,709	9,810	54,089	△54,089	—
計	2,025,816	364,297	109,415	2,499,529	△54,089	2,445,439
セグメント利益	144,051	246,341	45,994	436,387	△133,445	302,942

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額133,445千円は、各報告セグメントに配分されていない全社費用であります。全社費用は、親会社の本社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物流事業	不動産事業	その他の 事業	計		
営業収益						
顧客との契約から生じる収益	2,155,701	—	99,017	2,254,718	—	2,254,718
その他の収益(注)3	—	323,876	—	323,876	—	323,876
外部顧客に対する営業収益	2,155,701	323,876	99,017	2,578,595	—	2,578,595
セグメント間の内部営業収益又は振替高	5,310	26,848	8,550	40,708	△40,708	—
計	2,161,011	350,724	107,567	2,619,303	△40,708	2,578,595
セグメント利益	106,820	223,614	46,326	376,760	△145,624	231,136

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額145,624千円は、各報告セグメントに配分されていない全社費用であります。全社費用は、親会社の本社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入であります。